



(お知らせ)

29.12.19
統合幕僚監部

平成29年度日米共同統合演習（指揮所演習）について

自衛隊は、下記のとおり平成29年度日米共同統合演習（指揮所演習）を実施いたします。

記

1 演習の目的

我が国防衛のための日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、共同統合運用能力の維持・向上を図る。

2 実施時期

平成30年1月9日（火）～同年2月3日（土）

3 実施場所

防衛省市ヶ谷地区その他演習参加部隊等の所在地、米国ハワイ州及び在日米軍横田基地等

4 統裁官

- (1) 自衛隊： 統合幕僚副長 陸 将 本松 敬史
 (2) 米 軍： 太平洋軍幕僚長 空軍少将 ケビン B. シュナイダー
 在日米軍副司令官 海兵隊少将 チャールズ G. シュローティ

5 演習参加部隊等

(1) 防衛省・自衛隊

ア 統合幕僚監部及び統合幕僚学校

イ 陸上自衛隊

各方面隊、中央即応集団、中央管制気象隊、通信団、警務隊、中央情報隊、陸上自衛隊中央会計隊、陸上自衛隊中央輸送業務隊、自衛隊体育学校、陸上自衛隊幹部学校、陸上自衛隊幹部候補生学校、陸上自衛隊富士学校、陸上自衛隊高射学校、陸上自衛隊航空学校、陸上自衛隊施設学校、陸上自衛隊通信学校、陸上自衛隊武器学校、陸上自衛隊需品学校、陸上自衛隊輸送学校、陸上自衛隊小平学校、陸上自衛隊衛生学校、陸上自衛隊化学学校、陸上自衛隊高等工科大学、自衛隊中央病院、陸上自衛隊研究本部及び陸上自衛隊補給統制本部

ウ 海上自衛隊

自衛艦隊、各地方隊、教育航空集団、システム通信隊群、海上自衛隊幹部学校及び海上自衛隊補給本部

エ 航空自衛隊

航空総隊、航空支援集団、航空教育集団、航空開発実験集団、航空システム通信隊、航空自衛隊幹部学校及び航空自衛隊補給本部

オ 共同の部隊

自衛隊情報保全隊及び自衛隊指揮通信システム隊

カ 幕僚監部等

内部部局、各幕僚監部（統合幕僚監部を除く。）、情報本部及び防衛装備庁

(2) 米軍等

太平洋軍司令部及びその隷下部隊、在日米軍司令部、在日米陸軍、在日米海軍、在日米空軍、在日米海兵隊等

(3) 関係省庁

内閣官房、外務省等

6 その他

(1) 日米共同統合演習（指揮所演習）は、今回で22回目の実施となる。（第1回目は昭和60年度に実施）

(2) 日米共同統合演習（指揮所演習）への関係省庁の参加は、4回目となる。（23年度に初参加）

(3) 1月9日から12日までの間に、演習の中で特に省庁間調整等の演練を目的とした演習を実施する予定。